

全道中学スキー大会大回転で虹中横山君優勝、回転9位の坪川君と全国へ

小樽の天狗山スキー場で、1月14、15日行われた第38回全道中学校スキー大会で、横山駿太くん（虹中1年生）が男子大回転で優勝し、坪川侃くん（虹田中2年）も回転で9位に入り、共に今月新潟県妙高高原で開かれる全国スキー大会の出場を決めました。

二人は、共に小学1年生から「虹田ジュニアスキークラブ（新敏彦監督）」に所属し、ルスツスキー場をホームに平日はナイター練習、冬休みは終日練習をつんできました。



優勝した横山君(中央)と坪川君(左)、新監督

全国大会に向けて「少しでも良い順位をねらっていきたい」「10位以内を目指したい」と抱負を語り、更に練習に励んでいます。

新体制の下海難防止誓う 虹田救難所出初式

式では、高清水幸夫氏、吉田清正氏、三島美樹夫氏、岡田正志氏に、それぞれ所長、部長、副部長の委嘱状が伝達されました。長崎良夫監督官からは、「今年も昨年同様事故の無いよう、新しい体制の下で力を合わせて海難防止に励んで欲しい」との訓示があり、来賓挨拶に答える形

で、高清水新所長が「海難事故を起こさないよう、所員全員が力を合わせていきたい」と答辭を行い、最後に試験弾を打ち上げて式を終了しました。

機械・器具を点検する監督官ら

大人も子供も雪合戦で楽しむ



雪合戦を楽しむ児童達

1月21日、22日連続で雪合戦大会が町内で開かれました。21日は、虹田小学校の児童のお父さん達で結成された「おやじの会」の主催。虹小70人の児童が参加し、低学年の部と高学年の部それぞれ4チームづつに



優勝したチーム「AS・SC」

分かれて雪合戦を楽しみました。22日は、虹田町雪合戦協会が主催で、こちらは中学生以上が対象。優勝をめざし、参加4チームが総当たり戦に挑み、迫力ある試合を開催しました。優勝はチーム「AS・SC」。

盛り上がった虹田町老人クラブ 新年演芸交流大会



楽しげに踊る老人クラブの皆さん

平成18年度 虹田町老人クラブ連合会（鈴木正直会長）

が主催する新年演芸交流大会が、1月20日洞爺湖文化センターで開かれ、趣向凝らした出し物に、会場は大いに沸きました。新年会を兼ねて行われた同会は、約250人が参加。今年3月の合併も視野に入れて、洞爺村からも10名を招待しました。

10時半から始まった演芸発表は、42の個人とグループが、カラオケ、踊り、合唱と各自のおはこを披露。

おひねりが投げられ、花束が手渡されるなど、同センターは下町の大衆演芸場と化していました。